

「くまモン先生」活動プログラムの作成に当たって

1 プログラム作成のポイント

下線部は、プログラムを作成する際に考慮いただきたい点や選考の際に基準とする箇所です。

(1) プログラム作成のポイント

- ・活動の始まりの場面では、主たる指導者が活動の目的や趣旨を伝えること。
- ・活動の終末の場面では、活動を振り返るよう工夫するとともに、くまモン先生から子供たちの活動等を評価する場面を設定すること。
- ・活動のねらいを踏まえ、くまモンを「先生役」として活用すること。

(2) ポイントを押さえたプログラムの一例（一部）

活動内容	● くまモン先生の動き □ 指導者の動き
1 挨拶、事業紹介、くまモン先生の登場。	● 体育館入口にて待機、指導者による紹介の後、児童の前へ登場。 □ 開始の号令の後、事業の内容説明を行う。 くまモン先生が登場した際には、掛け合いを行う。
2 ニュースポーツ（ドッチビー、ニテレクボール等）。	● 児童にニュースポーツのポイント伝授、いっしょに体験。 □ 審判等、児童とくまモン先生の動きを監督。
3 指導者による活動の振り返り、くまモン先生からのメッセージ。	● 活動の振り返り、スポーツのどこが楽しかったか、チームワークの素晴らしさを説く。 □ 児童たちに図などを提示しながら、良かった点、悪かった点をメッセージとしておく。
4 代表児童よりくまモン先生へお礼の言葉、くまモン先生退場、挨拶。	● 児童からのお礼の言葉を聞いて喜ぶ、握手、退場の際は児童全員とハイタッチしながら退場。 □ 児童に号令をかけ、感謝の言葉をくまモン先生に伝える。

活動の前に本日の活動について、どのようなことを学ぶか説明している

くまモンがポイントを説明し、一緒に活動を行っている



最後に本日の活動から何を学んだか等の振り返りを行っている。

2 審査基準

- ア くまモンを「先生」とすることで、教育的効果が高まる活動であるか。
- イ 子供たちの学習や体験意欲の向上につながる活動であるか。
- ウ 子供たちの夢を育み、思い出に残る活動であるか。
- エ 地域の教育力の活用又は活性化に寄与する活動であるか。
- オ 地域の特色が生かされる活動であるか。

3 くまモン先生の活動内容に関する留意点

	派遣についての質問	可否	説明
1	土曜日や日曜日の学校行事等に派遣してもよいか。	×	くまモンスクエアやイベントの出演があるため、学校への土日の派遣は基本的にできません。
2	海岸等での活動に派遣してもよいか。	×	海で濡れたり砂で汚れたりする恐れがあるため、派遣はできません。
3	体験活動等で道具を使う活動や動きの多い活動に派遣してもよいか。	△	安全面での不安があるため、活動場所等を考慮する必要があります。 また、事前にどのような道具を使うのか相談してください。当日の打ち合わせで変更になる場合もあります。
4	工作等細かな作業がある活動に派遣してもよいか。	△	内容によっては、作業のサポート等を行うプログラムに変更する必要があります。事前に相談してください。
5	くまモンが言葉を発する活動に派遣してもよいか。	△	くまモン自身やくまモン隊が感想や説明を行わないため、指導員の説明に合わせて指さし等できるようなカード等を作成する必要があります。
6	くまモン出動時の動画をSNS等に利用してもよいか。	×	出動時の動画は、SNS等も含め、ご利用いただけません。(個人利用、県利用の場合を除く) ※「くまモン隊出動の手引き(R6.4～)」を参照されてください。

4 参考となるホームページの紹介

(1) 熊本県教育委員会ホームページ

生涯学習>くまモンが先生となった教育活動推進事業>令和6年度(2024年度)事業募集について(<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/8806.html>)から実施要項や応募用紙等のダウンロードができます。

(2) くまモンオフィシャルホームページ

(<https://kumamon-official.jp/kiji0031654/index.html>)

「くまモン隊出動依頼」に準じた事業となっています。参考にしてください。